

新しい会員施設のご紹介

令和4年1月26日の施設連絡会定例会で入会が決まった施設をご紹介します。

就労移行支援事業所の『サンク藤井寺』。就労移行とは、一般企業に就職をしたいと思っっている障がいを持つ方のサポートを行う通所型の福祉サービスです。

ご利用者に、画一的なプログラムではなく、一人ひとりのプログラムにこだわり、小さな目標を一步步つ乗り越えながら、一つずつ達成していくことで「不安」を「自信」に変え、今よりも「もつとできる」を感じてもらえることを目的に、ご利用者様の状況からきめ細かくサポートしております。

今回、会員施設が18施設となり、連絡会としての対応できる分野のすそ野が広がりました。長引く不況、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等で、生活に困っている世帯の特徴は、多岐に渡るようになってきています。そのような方々の声なき声に向き合い、適宜支援をしていくためには、様々な分野の知識や経験を結び付けていく事が、不可欠となります。今後も、定例会や研修、イベント等を通じて、会員施設同士の連携の充実を図っていきたくと考えています。

【施設の基本情報】

(法人名)
社会福祉法人ひまわり園
(施設名)
就労移行支援事業所
サンク藤井寺
(住所)
藤井寺市藤井寺1丁目3-21
(電話)
072-937-3325

(開所時間)
月～土
10時～15時



定例会(11・24)@市民会館小ホール

【主な案件】

- ① 共同募金街頭キャンペーン(報告)
- ② 令和3年度予算案について(一部変更)
↓ 全会一致で承認
- ③ 令和3年度の事業について(一部変更)
↓ 全会一致で承認

- ④ 令和4年度の方向性
- ⑤ 市からの生活保護・生活困窮・自立支援の相談件数(報告)
- ⑥ 社協からの種別ごとのコロナ貸付の相談及び申請件数(報告)

【12施設16人 計20人参加】

案件の後、各施設からコロナ禍における現場での対策についての情報共有が行われた。市民会館で実施しているPCR検査についての情報交換も行われ、出席者全員が意見を出すなど、非常に盛り上がりを見せた定例会となりました。

定例会(1・26)@ズームオンライン

【7施設12人計17人参加】

新型コロナウイルス感染拡大による、まん延防止のため、オンラインによる定例会に変更し、実施しました。

【7施設12人計17人参加】



【主な案件】

- ① 令和4年度以降の主な事業計画

【3つの柱】

- 一、民生委員児童委員、福祉委員等
地域・会員施設との顔の見える
関係づくり
- 二、ふじいでら子育て連絡会との連携強化
- 三、生活困難者についての情報共有と会員施設
相互協力による重層的な解決力の
向上

【小委員会】 各委員会の事業計画

- (とっくり委員会) 【委員長・大谷氏】
(研修委員会) 【委員長・野村氏】
(災害委員会) 【委員長・西野氏】
↓ 全会一致で承認

- ② 2月24日実施予定のオンライン研修について
- ③ 訪問型子育て支援リーフからの活動紹介
- ④ 市・社協からの定期報告

連携の足跡

1月末、社会貢献事業のケースとして、紙おむつを必要とする世帯からの相談がありました。事務局から、会員施設の保育園に紙おむつの提供を依頼したところ、翌日惣社保育園と、ふじみ保育園からご提供をいただきました。ご協力いただきありがとうございました。



【次回の定例会】

令和4年3月30日(水) 午後2時

